

2023年度事業予定に対する円滑な業務運営など求める

～2023.4.26 地本団体交渉～



事業予定等について交渉する地本執行部

4月26日、九州地本では、2023年度事業予定等に係わる団体交渉を実施しました。

今交渉は、当局交渉委員が新メンバー（総務企画部長・計画保全部長・森林整備課長・資源活用課長）に交代があつての初の交渉となり、令和5年度業務予定に對しての当局認識を改めて問う交渉となり、2部長の決意表明より始まりました。

冒頭、甲斐地本執行委員長は「今、2部長より決意表明を聞かせてもらった。今後、当局及び担当として具体的に何をどの様に九州局として進めていくのかを議論する場にしたし、九州局当局としてのフロンティア精神で取り組んでもらいたい。議論すべきは議論するという労使の信頼関係を継続しながら進めていきたい。定員削減が進む中で円滑な業務運営と、職員が背筋を伸ばし意欲を持って業務に取り組めるよう、今年度もお

- 願います。」と挨拶し交渉に入りました。
- 交渉事項としては、令和5年度予定総括表を受けて、
1. 2023年度業務運営等
 2. 事業実施体制の確立
 3. 労働安全の確保
 4. その他
- の4点を重点的に交渉を行いました。
- 具体的には、
- ① 当局責任において収入確保を図ること。
 - ② 生産・造林・林道等の各種事業など各署の要望に応じた必要な予算確保を図ること。また、非常勤予算の拡充も併せて求める。
 - ③ 要員不足、事業量増加により職員が労働過重となつていることから、業務運営に必要な要員配置とすること。また、来年度の新採及び中途採用の確保に向けて最大限取り組みこと。
 - ④ 級の切下げや役減が行われており、これ以上は認められない。署段階で必要なポストが空席となつているのは大きな問題である。一般職員が役付けポスト業務を行つており士気も下がつてい

- ⑤ 職員の負担軽減に向けて、抜本的な業務改善を図ること。
 - ⑥ 超勤の縮減と年休の取得に向けた対応策を示すこと。
 - ⑦ 2024年度概算要求に向けて、必要な定員・新規ポスト（総括治山技術官、支署次長級ポスト）の確保を図ること。
 - ⑧ 職員及び請負事業体等の労働安全の確保を図ること。
 - ⑨ 心の健康づくり体制を執行するものについて。
 - ⑩ 赴任旅費、移転料について、離島の自家用車運搬費用を対象経費に見直すよう求める。
 - ⑪ 山上等手当について、支給要件緩和の見直しと適業業務の拡充を求める。
 - ⑫ 再任用職員について、支給対象外の手当を支給対象とすること。また、赴任期間赴任旅費が適用されるよう改善を図ること。
- などについて、当局に對し対応を強く求めました。
- 当局からは、
- ア. 2023年度業務運営などについて、事業を円滑に進めるため、職員に過大な負担とならないように応援体制・フォローアップ体制を取りながら努力していきたい。
- イ. 各種事業や非常勤職員における署等への必要な予算確保・追加予算要求などについては、現場実態を把握し、機会あるごとに求めていきたい。
- ウ. 空席ポストの現状について、必要などころに人員を配置しながら、空席ポストの解消に向け引き続き努力していきたい。来年度の新採においては、更に増となるよう取り組みたい。また、再任用においては、積極的に応募いただけるような環境づくりを努め、できる限り要望に応えられるよう取り組みたい。
- エ. 一般職員の実態においては、厳しい要員実態の中で、職

- オ. 業務改善については、各署各課等からの事務改善提案等の積極的なフォローアップと新たな技術の活用等を進め、抜本の見直しに繋がっていききたい。
- カ. 超勤については、今後、管理者等へ再度指導を行い、超勤縮減に努めていきたい。年休取得については、取得しやすい雰囲気作りに努めながら、取得促進に向けて取り組みたい。
- キ. 総括治山技術官等の配置について、上部に現状を伝えていき、職員の負担軽減の対応を検討していきたい。
- ク. 労働安全確立については、人命尊重に変わりはない。3
- コ. 赴任旅費、移転料については、法律、規則等により定められているところであるが、要望については上部へ伝えたい。
- カ. 山上等手当についても、法律、規則等により定められているところであるが、機会ある毎に、関係機関等へ改善要望は行っている。引き続き、要望については上部へ伝えたい。
- シ. 再任用職員における手当等については、要望については上部へ伝えたい。など回答しました。
- 最後に、各種課題について問



発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

責任者 歌野国光
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、
林野労組

当面の行動

- 6月1日 執行委員会
- 6月8日 連合九州ブロック連絡会代表者会議（熊本市）
- 6月10日 地本女性集会（人吉市）
- 6月11日 森林労連代表者会議
- 6月14日 執行委員会（議案審議）（東京都12日）
- 6月23日 全国代表者会議（東京都）
- 6月24日 青女常任委員会（熊本市25日）
- 6月26～7月14日 中央・地本オルグ

匠の腕

「海を望むジャカラнда」

（撮影者 出田正哲：宮崎南部分会）



「匠の一言」
昨年の台風の影響で例年より花が少ないですが紫がきれいです。

記事を募集しています!!

分会で開催したいいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。

E-mail sinrin14-utano@sage.ocn.ne.jp

（教宣担当）

題点は多くあるが、職員の労働条件に影響を与えないこと、各種の進めにあつては、当局が職員とコミュニケーションを十分に取、目配り・気配りを図りながら、リーダーシップを発揮し、緊張感を持って取り組むこと、また具体的な各課題については、今後も継続・協議していただくことを確認して交渉を終了しました。



6月：いつの間にか今年も半分が過ぎていることに最近気がついた。1週間、1ヶ月、1年が早送りされているように早く感じるという人も多いのではないだろうか。▼時間の感じ方には年齢の高低、時間的圧力の有無、幸福感の高低などが関係する。そうだが、昔から「10歳を過ぎたら時間が経つのが早い」と日常的によく話すことがある日本人の決まり文句となつている。▼この現象を「シャネーの法則と呼ぶそう。生涯の長さは年齢の逆数に比例し、（年齢に反比例する）生きてきた年数によって一年の相対的な長さが増えたり減りたりすることによって、時間が早く感じるといふ▼6月10日は「時の記念日」。多忙な毎日の中、人はそれぞれの時間をコントロールしながら毎日を送っている。あつという間を感じる前に改めて時間の大切さを自覚し、生活の改善をはかるにはいい機会かもしれない。▼いくつになつても新鮮な体験や感動できるような体験ができる余裕を持ち、じっくり時間を噛みしめることができるよう、時間を有意義に使っていききたい。（NIKU）

第94回メーデー

支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！ 笑顔あふれる未来をめざし 力を合わせ、ともに進もう！

各地域で祭典が開かれる

長崎

【秋吉通信員・長崎分会】

連合長崎 第94回諫早地区メーデーが、5月1日に諫早市役所前交流広場にて開催されました。



本年度においてはコロナ感染

症状が緩和されたことを考慮し、約300名が集い、長崎分会からは4名が参加しました。

実行委員長の挨拶に始まり、来賓として連合長崎副会長外多数の出席者の挨拶がありました。

「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう！」とのメーデースローガンを採択。

労働者の地位や労働条件の向上、世界の恒久平和、各団体が推薦する政治勢力の維持拡大が重要、次期解散総選挙においては総力を結集し「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて取り組む旨のメーデー宣言を取り組む旨のメーデー宣言を

より統一地方選やメーデーの起源にふれながら「県内の春闘は29年ぶり高水準となる賃上げ率であり、今後の交渉にも波及させるためにも各構成組織を支援していく」と挨拶がありました。

また、来賓の蒲島知事より「誰もが働きやすい労働環境を整備するために「プライト企業」の認定による普及・拡大を進めます。」と祝辞がありました。

内海通信員・局分会

局

4月29日(土)「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう！」をスローガンに、連合熊本「第94回メーデー熊本県中央祭典」が開催され、熊本市近郊の産別労働組合から約2千名が集結、局分会より組合員と家族20名が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、4年ぶりに全体集会の開催となりました。

第1部の式典では、友田会長



第94回メーデー(組合員と家族が団結を深める！)

「誰もが働きやすい労働環境を整備するために「プライト企業」の認定による普及・拡大を進めます。」と祝辞がありました。

その後、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来を目指すメーデー宣言を採択し、ガンバロウ三唱し第一部を終了しました。

第2部では、交流イベントに移りお笑いライブ(ばってん荒川 Jr.など)、恒例の大抽選会や子供向けのミニ新幹線乗車などが行われ、抽選会では、当選番号が発表される中、一喜一憂し、後藤一哉さんの奥様や藤川 J.が見事当選。組合員と家族が団結を深める一日となりました。

西都児湯

【花田通信員・西都児湯分会】

4月29日、西都市内ホテルで第94回西都地区会議メーデーが開催され、森林労連から6名(花田、木崎、江口、片山、鶴山、林田)が参加しました。



な団結の日」と定め1890年

メーデーの起源は、「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自由な時間のために」を求め1886年米

国労働者がストライキに立ち上がったことをきっかけに、世界の労働者は5月1日を「国際的

鹿児島

【下田通信員・鹿児島分会】

連合鹿児島・連合鹿児島地域協議会共催の「第94回メーデー鹿児島中央集会」が4月29日、鹿児島市天文館公園で、小雨の降る中、各構成組織から約2,000名が参加(林野労組鹿児島分会、林退会・家族の12名が

参加)しました。

連合鹿児島下町会長は主催者を代表し「新型コロナ流行に伴う様々な制限が緩和され、経済活動が本格的に回復する中、労使ともに物価高の影響を受け厳しい状況である。賃上げや人材確保ができる職場環境の整備を求めていく」とあいさつ。

続いて、来賓のあいさつ、「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。連合鹿児島地域協議会徳留議長が「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。連合鹿児島地域協議会徳留議長が「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。連合鹿児島地域協議会徳留議長が「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。

「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。連合鹿児島地域協議会徳留議長が「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。連合鹿児島地域協議会徳留議長が「くらしを守る取り組みを最優先に進める」とするメーデー宣言を全体で採択。

その後、小雨の中、天文館周辺を、「賃上げ、くらしを守り、未来を変えよう」とシユプレヒコールで、4年ぶりに市民にアピールするデモ行進しました。

当日は前々からの天気予報が外れることなくあいにくの雨模様となりましたが、多くの構成組織・単組よりお子様連れの家族などの参加もあり大勢の人数で賑わいました。

式典のはじめには連合宮崎の中川会長より「すべての働く仲間が安心して働き暮らすため、コロナ禍やロシア・ウクライナ情勢など不安定な国際社会情勢を起因とした物価高から暮らし



選された連合宮崎推薦永山俊郎

あの人とあの人

「新採だけどベテランの働き！」

横田 貴彦さん(熊本分会)



多趣味の持ち主の横田さん

市内のハローワーク等に勤務されていたとのこと。なるほど、多少忙しい程度では動じないのも頷けます。趣味はサッカー、登山、弓道と多趣味でスポーツマンの片鱗もかがえます。弓道は昨年から再開したばかり

労働組合に関する知識は殆ど無いとのことですが、「公務職場における労働組合は必要不可欠なものであるとの認識です。」と大変強い言葉も頂きました。このように大変ハイスペックな横田さん。今後の活躍に期待です。(今村通信員・熊本分会)

今回、熊本分会より紹介するのは中堅のホープこと横田貴彦(よこたたくひこ)さんを紹介いたします。

横田さんは、令和5年度新規採用で生まれも育ちも熊本市のシテイボーイ。また、社会人枠での採用ということ、新採でありながら二種ど

このことですが、学生時代の成績は全国ベスト16の腕前だったとか。また、登山は九州の山々を定期的に登っており、コロナ前は日本アルプスにも行ったというアグレッションも兼ねています。ちなみに今後の予定を聞いたら6月にミヤマキリシマを見に韓国岳に登山を予定しているそうです。

宮崎

【山元通信員・宮崎分会】

4月29日(土)に開催された「第94回連合宮崎・宮崎中央メーデー」に宮崎分会より参加しました。

当日は前々からの天気予報が外れることなくあいにくの雨模様となりましたが、多くの構成組織・単組よりお子様連れの家族などの参加もあり大勢の人数で賑わいました。

式典のはじめには連合宮崎の中川会長より「すべての働く仲間が安心して働き暮らすため、コロナ禍やロシア・ウクライナ情勢など不安定な国際社会情勢を起因とした物価高から暮らし

味な雇用の課題解決でくらしをまもる取り組みを最優先に進めよう。」との挨拶がありました。

第2部では、お楽しみ抽選会があり、永山俊郎議員の司会で始まり、各産別から多数の賞品提供がありました。

抽選の結果、当分会組合員2名が当選を果たし、賞品を獲得しました。

都城

【河本通信員・都城支部分会】

第94回連合宮崎都北地協メーデーは4月30日、「沖水川市民緑地公園」に各産別から多数の組合員が集結、分会からも8名が参加し、小雨が降る中開催されました。

第1部式典では、主催者を代表して都北地協菱口議長が挨拶。来賓として連合宮崎中川会長、都城市長、三股町長、先の宮崎県議会議員選挙都城地区にて当選された連合宮崎推薦永山俊郎



氏挨拶されました。